



ようこそ青海小へ（中学生職場体験・教育実習）



先週10日（木）からの2日間、三角中学校の生徒3名（〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん）が職場体験に来てくれました。1日目は4・5・6年生の教室、2日目は1・2・3年生の教室に入り、それぞれの学年で活動を行いました。初日の自己紹介では、3人とも緊張した様子でしたが、時間がたつにつれて少しずつ表情が和らぎ、授業では学習のサポートをしたり、昼休みには小学生と一緒に遊んだり、積極的に関わってくれました。3人とも青海小学校の卒業生です。かつて通っていた学校で、今度は「働く側」として過ごす2日間は、きっと新鮮な体験だったと思います。仕事をするこの大変さや楽しさを、今回の活動を通して少しでも感じてもらえていたらうれしく思います。

また、8月31日（月）からの1ヶ月間、養護教諭（保健室の先生）の免許取得を目指して、大学4年生の〇〇さんが教育実習に来ています。養護教諭は、今の学校にとって欠かすことのできない存在です。子供たちの心身のケアをはじめ、不登校児童への対応、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携など、業務は多岐にわたります。保健室が子供たちにとって安心できる場所であるために、専門性と温かさの両方が求められる仕事です。富田さんには、この教育実習を通して多くのことを学び、これからのキャリアにしっかりと役立ててほしいと思います。



恐竜の名前に興味津々



先週7日（月）、PTA役員の皆さんによる読み聞かせがありました。今回の対象は3・4年生で、たくさんの恐竜が登場する絵本を読んでいたのですが、私自身も一度聞いただけでは覚えられませんでした。（後から3年生の女の子が教えてくれました。）それでも、子供たちの印象には強く残ったようで、読み終わった後の感想の中には「『パラサウロロフス』という恐竜の名前が面白かったです。」という声もありました。このように、子供たちは今まで出会ったことのないものに触れることで好奇心が刺激され、「もっと知りたい」という気持ちが芽生えます。私自身も、どんな恐竜なのか調べてみたくなるほどでした。皆さんもご存じの通り、熊本県では天草の御所浦や御船町で恐竜の化石が発見されています。御船町には恐竜博物館もあり、実際の化石や復元模型を間近で見ることができます。今回の読み聞かせをきっかけに恐竜に興味を持ったお子さんがいらっしゃいましたら、まだ訪れたことがないご家庭は、一度足を運ばれてみるのも良い体験になると思います。